見守り新鮮情報

事例1

庭木の**剪定中**にバランスを崩して**脚立**から**転落**。左肋骨骨折、血胸、脊椎骨折、左上腕骨骨折で**入院**となった。

（70歳代）

重篤な事故になることも！ 脚立やはしごからの転落に注意

事例2

高さ1mの**はしご**に乗って**庭仕事**をしていた際、バランスを崩し、**転落**した。急性硬膜下出血あり。

（80歳代）

ひとこと助言

- 脚立やはしごからの転落事故が報告されています。特に庭木の手入れ中の事故が目立ち、重篤な事故につながる事例も見られます。高齢になると誰でも、身体・認知機能が衰えてきます。専門業者や身近な人に頼むなど、なるべく高所での作業は自分自身で行わないようにしましょう。
- 作業を行う際は、脚立やはしごの止め具を確実に固定し、固く平坦な地盤に設置しましょう。一人きりの作業は避け、安定性補助器具が付いたものを利用してください。また、ヘルメット、動きやすい服装、滑りにくい靴で作業することも大切です。
- 脚立は作業用の用具であり、天板から2段以上下の踏ざんに立って作業しましょう。一方、はしごは高所へ移動するための用具なので、はしご上で作業しないようにしましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報　第553号（2026年10月8日）発行：独立行政法人国民生活センター